

## ミャンマー 2010.12.25 ~ 2011.01.01

### ■ 2010.12.25 今回はミャンマー ■

駅に着いて唾然とする。強風のため、新屋、吹浦間で終日運転見合せだと…。大曲か秋田まで行けば、新幹線こまちに乗れる。知人に電話して送ってもらう方法を考えたが、駄目。

家族に電話したら、酒田まで送ってくれるという。でも、いなほも、運休とのこと。万策尽きたかにみえたが、大曲のこまち駐車場に1台だけ空きがあるという。一時間ほどで、大曲着。

第二駐車場の場所がわからず苦労したものの、なんとか間に合う。成田ビューホテル泊。

### ■ 2010.12.26 ヤンゴンへ ■

晩酌のし過ぎで具合悪し。6時半チェックアウト。早朝チェックアウトだと、1泊4000円で泊まれるんです。

ホテルの草原バスで成田空港第2ビルへ。航空券を受け取り、ラウンジで休憩。

ミャンマーは円の両替はほぼできないとのこと。物価が安いので、どれくらい両替すればよいか迷いながらも、5万円をドルに両替(581ドル)。

09:30 ベトナム航空のVN951便でハノイへ。

ハノイ発VN705便は40分遅れで出発。18:15 ヤンゴン到着。

今回はツアーなので、(と言っても一人だが)、ホテルまでの送迎付きなので楽である。

ヤンゴン・セントラルホテル到着。荷物を置き、早速入浴。

ミャンマーの中級ホテルはバスタブ付きが多いとのこと。ふう、生き返ります。

ホテルのレストランで食事。このメニューは中華料理のみ。

炒飯とミャンマービール。5000チャット。例によって、ばたんきゅう。明日朝早いし…。



【ベトナム航空機内食】



【炒飯】



【ミャンマー麦酒】

### ■ 2010.12.27 バガン観光 ■

早朝4時半(日本時間7時)ホテルを出発。当然ホテルのレストランは開いてないので、御弁当を受け取る。食パン2枚とゆで卵、マンゴー。

6時発の予定がまたも30ほど遅れるが、到着時刻はほぼ同じだった。7時半バガン空港到着。

空港で10ドルの観光料を支払う。迎いの車でルビートゥルー・ホテルへ。

ちょっと休憩して、9時から観光開始。迎いの車をそのままチャーターしてバガン観光。

①シュエズイーゴオン・パヤー ②ティーローミンロー寺院 ③アーナンダ寺院

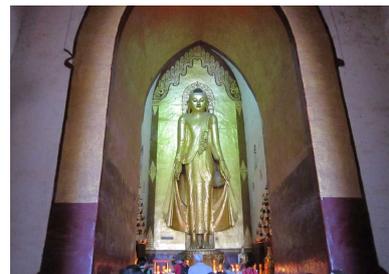
④ブーパヤ・パヤー ⑤ゴドーパリン寺院



①シュエズイーゴオン・パヤー



②ティーローミンロー寺院



③アーナンダ寺院



④ブーパヤ ・ パヤー



⑤ゴドーパリン寺院



【バガン路上市】

ミャンマー料理のレストランでランチ。一人分がテーブル一杯に並べられてびっくり。鳥・豚・羊のカレーを中心に 12 皿以上。ミネラルウォーター 1 リットルとあわせて、たったの 3500 チャット。

⑥マハーボディ寺院を見学し、ホテルへ戻る。夕方まで爆睡。

⑦タビニュー寺院 ⑧シュエサンド・パヤーで夕日見学

ホテルレストランでの夕食は鳥肉と野菜炒め、そしてタイガー・ビール。

こちらは、ミャンマー・ビールよりちょっと軽めです。



【ミャンマー料理】



⑥マハーボディ寺院



⑦タビニュー寺院



⑧シュエサンド・パヤーで夕日見学



【パゴダ（仏塔）は数千】

■ 2010.12.28 バガン 2 日目 ■



【おかゆ朝食】



【ルビートゥルー・ホテル】



【ホテルで夕食】

観光は昨日たっぷりしたので、今日はホテルでゆっくり過ごす。朝食のおかゆが美味しかった。午後、ホテル周辺（ニューバガン地区）をゆっくりと散歩。途中、インターネット・カフェを見つけたので、中に入る。「インターネットをしたいのですが…」と英語で言うと、きれいな店員さんが、天井を指さして、停電なので使えないと答える。あんれまあ、そういうこともあるのね…。

しばらく歩くと、マーケットやらホテルやらレストランやらが集まる地区へ出た。  
ビールと水、ナッツを購入。缶ビールは 350ml で 40 円くらい。水は 1 リットル 30 円くらいだった。夕食はまた、ホテルのレストラン。

■ 2010.12.29 マンダレー ■

08:05 AIR BAGAN W9-007 便で、マンダレーへ。30 分で到着。

空港からホテルまでは結構な距離。1 時間近くかかって到着。少し休んでから、徒歩で観光出発。地図で見ると近いが、実際歩いてみると、遠い、遠い。

おまけに暑くて、王宮の横を歩くだけでへろへろに…。

やっとこさマンダレー・ヒル到着。チャウタウジー・パゴダを見学。裸足のまま長い距離を登るのは、なかなかの辛さ。でも、上からの眺めは絶景、絶景！

登りよりきついのは下り。よれよれになって、入り口まで戻ると、タイミング良くタクシーの客引きが…。もう歩けまへん。ホテルまで、日本円で 400 円ほどというのは、ちと高かったのかもしれないが、そんなことはもうどうでもよし…。

夕食は、ホテル近くのバー&レストラン。気さくな店員さんたち。iPad に興味津々で、会話をけっこうした。ミャンマー語を少し習う。日本語の「ありがとう」は、「チェーズー・ティンバアデェ」。いい響きだ。店を出るときもこの言葉で別れた。



【マンダレーヒルのチャウタウジー・パゴダ】



【王宮のお堀】



【バー&レストランで夕食】



■ 2010.12.30 シュエダゴン・パヤー ■

ヤンゴンに戻って来ました。バガンのネットカフェは、停電で使えず涙。マンダレーのホテルでは日本のウェブサイトにはアクセスできたが、ブログはまったくだめ。ところが、ヤンゴンのネットカフェはアクセス OK！ 面白いもんです。この記事も最初はローマ字で書いたのだが、PC への日本語インストールに成功。こうして更新しております。(\*ー\*)





■ 2010.12.31 マーケット ■

ヤンゴン最大のマーケットが、ボージョーアウンサン・マーケット。  
イギリス植民地時代から続く、歴史あるマーケットだ。とにかく店が多くて圧倒される。結局、何も買えなかったけど…。

マンダレーに続き、日本食レストランを探したが、ここ（不知火）も無くなっていた。  
今日もまた、ビアホールで生ビール。ミャンマーではなぜか、瓶ビールより生ビールが安い。  
生ビール1杯は500チャット。日本円で50～60円といったところ。  
15:00 ホテルをチェックアウト。荷物を預け、昨日と同じネットカフェへ。  
昨日はブログにアクセスできたのに、今日はだめ。どうなってるの??



【ボージョーアウンサン市場】

【ビアホールで生ビール】

【ミャンマー焼き鳥】

16:30 空港へ向けホテルを出発。18:35 VN704 便でホーチミンへ。日本時間の年越し&現地での年越しは、空港の中で迎える。ゲートの近くで、無料の無線LANアクセスポイントを発見。  
ネットサーフィンをして3時間の待ち時間を過ごす。00:15 VN950 便で成田へ。

■ 2011.01.01 帰国、そして帰郷 ■

07:30 時間通り成田着。モーニングラナーで上野。10:02 発こまちで13:27 大曲着。  
天気が良く、道路が乾いていたので自宅まで快適ドライブ。8日ぶりの我が家へ。  
やはり自分の家が一番落ち着く。(\*^\_^\*)

■ 2011.01.06 バックパッカーのパラダイス ■

ミャンマー滞在中に使ったお金を振り返ってみる。(事前に旅行会社に支払った料金を除く)  
成田空港の両替所で5万円をドルに両替した。5万円=581ドル。1ドル86円。このうち、使ったのはたったの159ドル。100ドルをミャンマーチャットに両替した。100ドルは80000ミャンマーチャット=8600円。飲み食いで5000円くらい。ミャンマーチャットは国外に持ち出せないし、再両替もできないため、空港で適当に土産物を買って、使い切るしかなかった。

59ドルの内訳は、バガンの車チャーター料金35ドル、バガンの観光税10ドル、ヤンゴンの空港税10ドル、ホテルのミニバーの缶ビール2ドル、ポーターへのチップ2ドル。1ドル86円で計算すると、159ドルは13674円。1週間でたったこれだけしか使えなかったことになる。

ミャンマーという国は、旅行者に開放している地区ならば、治安はよいし、人々は親切で真面目だし、バックパッカー(貧乏旅行者)にとっては天国のような国であった。